

模擬問題 1

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 海上での信号や標識は、小型船舶の航行には関係がない。
- (2) 自分さえ安全ならば、速力を上げて航行してもよい。
- (3) 沿岸付近を航行するときには、陸上との連絡手段を持つ必要はない。
- (4) 太陽光の水面反射によって、水面の状況が分かりにくいことがある。

問2 航行中のヨットの特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 帆走中に風を受ける舷^{びん}を変える際、急に大きく針路を変える場合がある。
- (2) 大きな帆が死角となるため、周囲の状況が十分に確認できない場合がある。
- (3) 帆走中の操船は風に左右されるため、自由自在に航行することが難しい。
- (4) 帆走だけでは、風上の目標に到達することができない。

問3 沿岸漁業に対する注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 養殖漁業の網やいかだは、見えにくい場合があるので注意する。
- (2) 引き縄漁船の引き縄は長さが数十メートルにもなるので、後方を横切る場合は十分離れる。
- (3) 仕掛けられた刺し網^{はたざお}やはえ縄には目印のブイや旗竿が付いているので、避けて航行する。
- (4) 定置網の中を通り抜けるときは、できるだけ低速で航行する。

問4 プレジャーボートの機関故障事故の主な発生原因は、次のうちどれか。

- (1) 船位不確認 (2) 操船不適切 (3) 機関取扱不良 (4) 気象海象不注意

問5 小型船舶の船長がとった行動として法令に違反するものは、次のうちどれか。

- (1) 操縦免許証をしばらく他人に貸した。 (2) 船舶検査証書を船内に備えて航行した。
- (3) 船舶検査手帳を船内に備えて航行した。 (4) 法定備品を船内に備えて検査を受けた。

問6 車を利用してボートや水上オートバイを持ち込む場合のマナーについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 空き地であっても、許可なく車で乗り入れないようにする。
- (2) 駐車禁止場所や他の人の迷惑になる場所に、駐車しないようにする。
- (3) 燃料やオイルを、海岸に捨てたりこぼしたりしないようにする。
- (4) 艇を降ろした後、トレーラーはそのまま水際に置いておくようにする。

問7 小型船舶の船長が、出航するときに家族やマリナーなどに知らせておかなければならない事項として最も重要なものは、次のうちどれか。

- (1) 航行予定水域 (2) 機関の出力 (3) 燃料の搭載量 (4) 免許の種類

問8 電話番号「118番」により海上保安庁へ通報する場合として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 海岸や海上で不審な船舶や人物を発見したとき。
- (2) 海上で海難事故を起こしたとき、または事故を目撃したとき。
- (3) 海上で船舶の航行に支障があるような漂流物を発見したとき。
- (4) 初めて航行する水域の気象情報について問い合わせるとき。

問9 小型船舶の船長の遵守事項として適切でないものは、次のうちどれか。(小型船舶操縦者法)

- (1) 発航前に燃料及び潤滑油^{じゅんかつゆ}の量を点検すること。
- (2) 酒に酔った状態であっても、有資格者である船長が操縦を行うこと。
- (3) 航行中も錨泊^{びわぼく}中もいつでも適切な見張りを行うこと。
- (4) 操縦する小型船舶に差し迫った危険があるときは、人命の救助に必要な手段を尽くすこと。

問10 技能限定の付かない二級小型船舶操縦士の免許は満何歳から取得できるか。次のうちから選べ。(小型船舶操縦者法)

- (1) 16歳 (2) 18歳 (3) 20歳 (4) 22歳

=====
解答 問1 (4) 問2 (4) 問3 (4) 問4 (3) 問5 (1) 問6 (4) 問7 (1) 問8 (4) 問9 (2) 問10 (2)

※問10・・・2級は16歳から取得できますが、18歳の誕生日になるまで5トン限定がつきます。(技能限定)

問11 最大搭載人員が5人のレンタルボートで航行する場合、法令違反となるのは、次のどの組合せか。(船舶安全法)

	大人(20歳以上)	小人(年齢の内訳)
(1)	1人	8人(全て10歳)
(2)	3人	3人(6歳、10歳、12歳)
(3)	4人	2人(6歳、12歳)
(4)	2人	5人(6歳2人、10歳2人、12歳1人)

問12 迷惑防止と環境保全について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

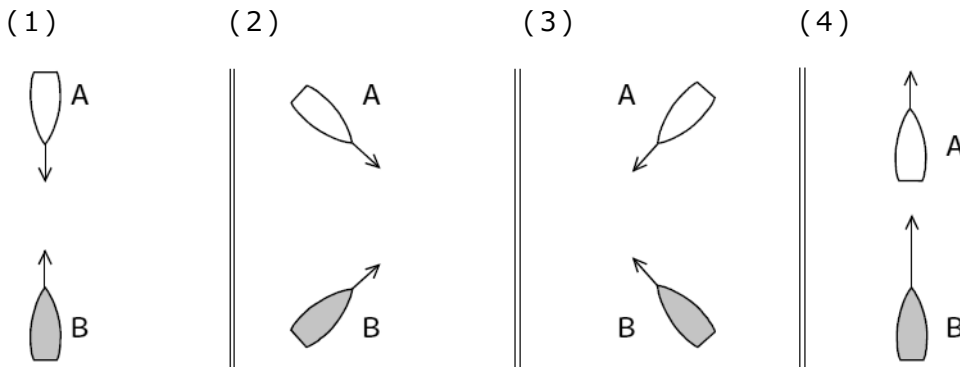
- (1) 住宅地付近の浜辺では、早朝や深夜にはエンジンの始動を行わないようにする。
- (2) 付近の住民の迷惑となるので、必要のない空吹かしを行わないようにする。
- (3) 大気汚染などを招くので、エンジンの悪質な改造を行わないようにする。
- (4) 出航するときはできるだけ速力を上げて、早く岸から離れるようにする。

【交通の方法】

問13 夜間、航行中の2隻の動力船が、それぞれの船首方向に他の動力船のマスト灯、右舷灯及び左舷灯を認め、衝突するおそれがあるときは、互いにどのような航法をとらなければならないか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

- (1) 大幅に針路を右に転じながら、操船信号を行う。
- (2) 大幅に針路を左に転じながら、操船信号を行う。
- (3) 速いほうの船舶が、他船の進路を避ける。
- (4) 遅いほうの船舶が、他船の進路を避ける。

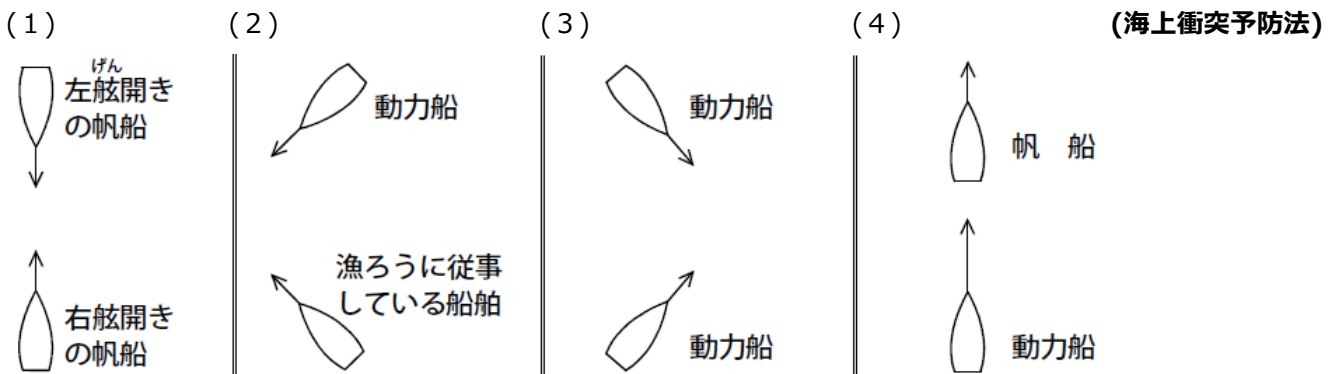
問14 下図に示すように、航行中のA、B 2隻の船舶の間に衝突のおそれがある場合、船舶の種類を問わず、常にBが避航船となるのは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



問15 航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り衝突するおそれがあるとき、他の動力船を右舷側に見る動力船は、やむを得ない場合を除き、どのような動作をとってはならないか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

- (1) 針路を左に転じること
- (2) 他の動力船の船首方向を横切ること
- (3) 機関を停止すること
- (4) 投錨すること

問16 保持船の航法において、避航船が適切な避航動作をとっていないことが明らかになったため、保持船が衝突を避けるための動作をとろうとするとき、やむを得ない場合を除き、針路を左に転じてはならない場合に該当するものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



解答 問11 (3) 問12 (4) 問13 (1) 問14 (4) 問15 (2) 問16 (3)

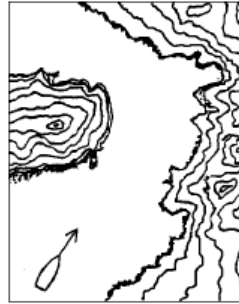
問17 各種船舶間の航法における、避航船と保持船の関係を示した下表のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

	避航船	保持船
(1)	漁ろうに従事している船舶	操縦性能制限船
(2)	帆 船	操縦性能制限船
(3)	運転不自由船	漁ろうに従事している船舶
(4)	帆 船	運転不自由船

問18 見張りについて述べた次の文のうち、正しいものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 進行方向の見張りに意識を集中する。
- (2) 双眼鏡は、見える範囲が狭くなるので使用しない。
- (3) 夜間は、レーダーによる見張りだけを行う。
- (4) 航行中、^{びょうほく} 錨泊中にかかわらず、注意深く行う。

問19 右図に示すように、他の船舶を見ることができない狭い水道のわん曲部に接近する船舶が行った次の動作のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

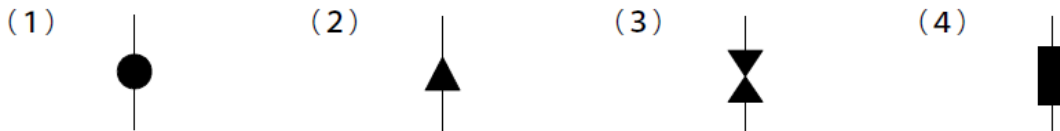


- (1) 速力を落とした。
- (2) 耳をすました。
- (3) 長音 1 回の汽笛信号を行った。
- (4) 左岸側へ寄って航行した。

問20 法定灯火の種類とその色を示した次の組合せのうち、正しいものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) マスト灯 …… 白色 (2) ^{うげん} 右舷灯 …… 紅色
- (3) ^{さげん} 左舷灯 …… 緑色 (4) 船尾灯 …… 黄色

問21 昼間、前方に、水平距離150メートルを超える漁具を船外に出して、トロール以外の漁法により漁ろうに従事している船舶を視認した。この船舶を避航するにあたり、船上に表示されているどの形象物を目安に漁具が出ている方向を推測したらよいか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)



問22 視界制限状態にある水域を航行中の操縦性能制限船が、2分を超えない間隔で行わなければならない汽笛信号は、次のうちどれか。ただし、**————** は長音、**—** は短音とする。(海上衝突予防法)

- (1) **— — ————** (2) **— ———— —**
- (3) **— ———— ————** (4) **———— — —**

問23 港内における航法として誤っているものは、次のうちどれか。(港則法)

- (1) 航路内では、海難を避けようとするときや人命を救助するときなどを除き、^{とうびょう} 投錨してはならない。
- (2) 汽船が港の防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれのあるときは、入航船は、防波堤の外で出航船の進路を避けなければならない。
- (3) 港内及び港の境界付近においては、他の船舶に危険を及ぼさないような速力で航行しなければならない。
- (4) 港内において、防波堤の突端を^{さげん} 左舷に見て航行するときは、できるだけこれに近寄って航行しなければならない。

問24 特定港内における次の行為のうち、あらかじめ港長の許可を受けて行えるものはどれか。(港則法)

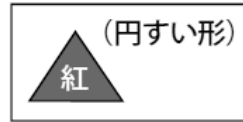
- (1) 油送船の付近での火気の取扱い (2) 港内での漁ろう
- (3) ボート競争の実施 (4) バラスト、ごみの投棄

=====

解答 問17 (3) 問18 (4) 問19 (4) 問20 (1) 問21 (2) 問22 (4) 問23 (4) 問24 (3)

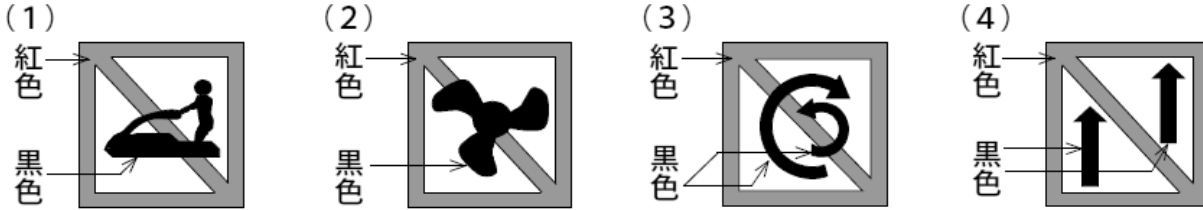
問25 昼間、右図の標識を表示している船舶は、次のうちどれか。

ただし、紅は標識の塗色を表す。 (海上交通安全法)



- (1) 緊急用務を行うための船舶 (2) 危険物積載船
 (3) 航路を横断中の船舶 (4) 工事又は作業中の船舶

問26 次の河川通航標識のうち「回転禁止」を表すものはどれか。(河川法)

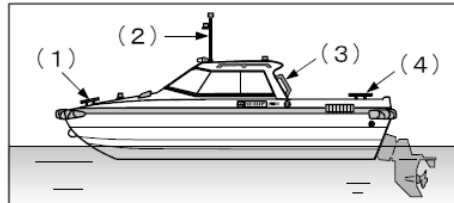


【運航】

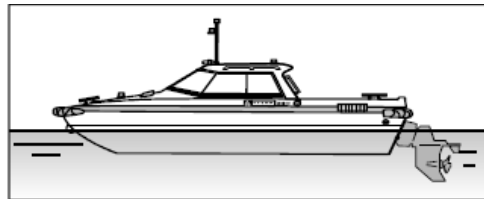
問27 小型船舶の操縦について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 追い波を受けて航行すると、舵効きがよい。
 (2) 視界が悪くなったら、全速力で視界のよい水域に向かう。
 (3) ゴミ等の浮遊物は、船首波で押しつけて航行する。
 (4) 緊急回避のとき以外は、舵を大きく取らない。

問28 右図のような船舶が単錨泊する場合、アンカーロープを結ぶ場所として最も適当なものは、図中(1)～(4)のうちどれか。



問29 右図に示す小型船舶のトリムの状態を表す用語として正しいものは、次のうちどれか。



- (1) 船首トリム (2) 船尾トリム
 (3) イーブンキール (4) トップヘビー

問30 航行中、霧によって視界が悪くなった場合の対処として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 法定灯火を表示する。 (2) 全速力で陸岸に向かう。
 (3) 見張りをを行う者を増やす。 (4) 停船した後、水深を測る。

問31 他の船舶を曳航する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 曳航ロープは、決して解くことができないように固く結ぶ。
 (2) 視界が悪くなったら、曳航ロープを伸ばす。
 (3) 曳航を開始するときは、できるだけ低速で引き始める。
 (4) 荷物は、すべて引かれる船に移す。

問32 次の(ア)～(ウ)の要素から、実航真針路を求めると何度になるか。下のうちから選べ。

- (ア) コンパス針路 : 058°
 (イ) (ア)の針路における自差 : 2° W
 (ウ) 航行水域における偏差 : 5° E
 (1) 051° (2) 055° (3) 061° (4) 065°

=====

解答 問25 (1) 問26 (3) 問27 (4) 問28 (1) 問29 (3) 問30 (2) 問31 (3) 問32 (3)

※問32・058° - 2° + 5° = 061° コンパス方位から真方位への補正はWはマイナス、Eはプラス
 ただし、真方位からコンパス方位を求める場合は符号を反転 (Wはプラス、Eはマイナス)

問33 A地点から45海里離れたB地点までを平均速力15ノットで航走し、次いでB地点から60海里離れたC地点までを平均速力12ノットで航走した。A地点からC地点までの所要時間は、次のうちどれか。

- (1) 3時間53分 (2) 5時間00分 (3) 8時間00分 (4) 8時間45分

問34 孤立障害標識の頭標(トップマーク)の形状及び塗色は、次のうちどれか。ただし、赤、緑、黒は塗色を表す。

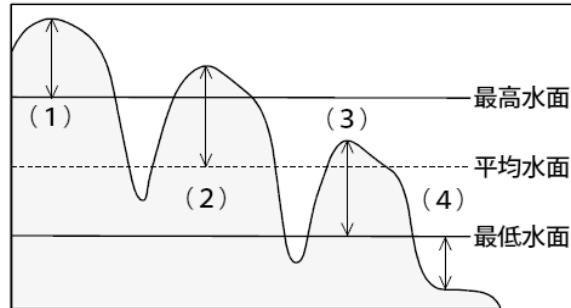


問35 灯質が「1周期内に一つの明間を持つ閃光」を表す灯略記は、次のうちどれか。

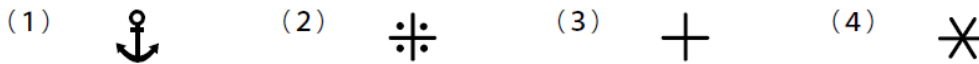
- (1) Al (2) Fl (3) Oc (4) F

問36 海図に記された高さや水深の基準面を示した右図のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 山の高さ
(2) 島の高さ
(3) 干出の高さ
(4) 水深



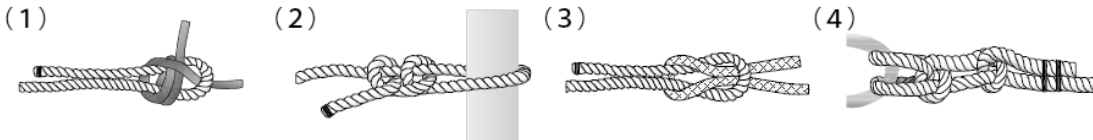
問37 次の海図図式のうち、小型船舶がそのすぐ近くを航行しても、一般に支障がないものはどれか。



問38 船体各部の名称とその役割を示した次の組合せのうち、適切でないものはどれか。

- (1) キール : 船体の船底中央を船首から船尾にかけて通した主要部材で、船体の横の強度を保つ。
 (2) トランサム : 船体の最後部を構成する板状の部材で、船外機や船内外機のドライブユニットが取り付けられる。
 (3) ガンネル : ハルとデッキの接合部分、または舷側の最上部で、係留時や接岸時の損傷を軽減するために、ゴムなどを張り巡らせてあるものがある。
 (4) フレーム : 船体の外板を支え、ビームとともに船体の横の強度を保つ。

問39 いかり結び(フィッシャーマンズバンド)は、次のうちどれか。



問40 出航前に点検した次の事項のうち、このまま出航するには適切でないものはどれか。

- (1) 燃料油が十分に積んである。 (2) 燃料タンクの空気抜き口が開けてある。
 (3) 重い荷物が高い位置に積んである。 (4) ハッチが閉じてある。

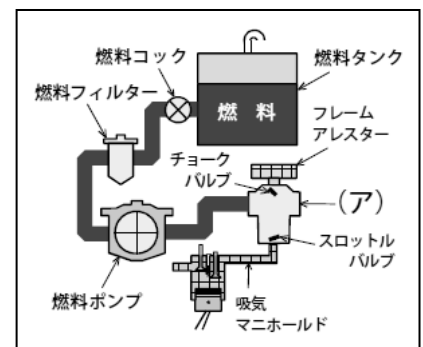
問41 発航前にバッテリーの充電状態が「良い」と判断できる目安として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) バッテリー液の液面が適正範囲にある。 (2) Vベルトの張り具合が適正である。
 (3) ターミナルの締付けが適切である。 (4) スターターモーターの作動が良好である。

問42 右図は、ガソリンエンジンの燃料系統を示した略図である。

図中(ア)の役割として正しいものはどれか。

- (1) 霧状にした燃料油と空気の混合気を作る。
 (2) 燃料通路の開閉を行う。
 (3) エンジンにより動かされ、一定の圧力で燃料油を送る。
 (4) 燃料油中のゴミや水分を取り除く。



解答 問33 (3) 問34 (4) 問35 (2) 問36 (1) 問37 (1) 問38 (1) 問39 (4) 問40 (3) 問41 (4) 問42 (1)

※問33・①45海里÷15ノット=3時間 ②60海里÷12ノット=5時間 → 3時間+5時間=8時間

問43 ガソリンエンジンの始動及び運転操作について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) スターターモーターは回転するのにエンジンが始動しない場合は、スタータースイッチを「ON」の位置に戻してから、リモコンレバーをフルスロットルにすると始動する。
 (B) リモコンレバーによるクラッチのシフト操作はできるだけゆっくり行い、増減速の操作はできるだけ素早く行う。
 (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問44 航行中、エンジンに異常を感じた場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 直ちにエンジンを停止する。
 (2) 計器類の示す値で異常の有無を判断する。
 (3) 応急修理ができるかどうかを判断する。
 (4) 風や潮流に流されても安全な位置かどうかを確認する。

問45 船外機の冷却海水システムを清水で洗う手順として最も適切なア～エの組合せは、下のうちどれか。

ア：エンジンを始動する。

イ：水洗ユニットを船外機に取り付ける。

ウ：水洗ユニットをつないだ水道の蛇口を開く。

エ：検水孔から水が出ていることを確認する。

- (1) ア→イ→ウ→エ (2) イ→ウ→ア→エ (3) イ→ア→ウ→エ (4) ア→ウ→イ→エ

問46 前線の記号とその名称を示した次の組合せのうち、正しいものはどれか。





- (1)  寒冷前線 (2)  閉塞前線
 (3)  温暖前線 (4)  停滞前線

問47 次の文は、どの前線について述べたものか。下のうちから選べ。

「この前線が接近すると積乱雲が発生する。前線の通過時は短時間に強い雨が降り、ときには突風をとまなう。前線の通過後は気温が急激に下がり、風向が北寄りに急変する。」

- (1) 温暖前線 (2) 寒冷前線 (3) 停滞前線 (4) 閉塞前線

問48 次の月の見え方のうち、潮の干満の差が最も大きくなると推測できるものはどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

問49 小型船舶の操縦について述べた次の文の()の中に当てはまる語句として最も適当なものは、下のうちどれか。

「航行中に予期せず荒天となった場合、向かい波のときは風浪を船首よりやや斜め方向から受けるように操船し、()のきく程度に速力を調整する。」

- (1) 見通し (2) 錨 (3) 排水 (4) 舵

問50 「手持ちで使用する、炎火を発生する救命設備」はどれか。次のうちから選べ。

- (1) 信号紅炎 (2) 自己発煙信号 (3) 火せん (4) 自己点火灯

問1～問12	問13～問26	問26～問50	合計
/12 正解	/14 正解	/24 正解	/50 正解

各科目50%以上、合計33問以上正解で合格。(特殊所持者は問13～問50の中で各科目50%以上、25問以上正解で合格)

=====
解答 問43 (4) 問44 (1) 問45 (2) 問46 (4) 問47 (2) 問48 (4) 問49 (4) 問50 (1)

模擬問題 2

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) まわりよりも白波が多く立っている水面は、その下に障害物や浅瀬が存在していることがある。
- (2) 太陽の光を背にして航行していると、前方にある船やゴミが見えなくなってしまうことがある。
- (3) 潮流の強いところでは、思った以上に速力がよがったり下がったりしてしまうことがある。
- (4) 自船の位置を確認しておかないと、気付かないうちに危険な場所に近づいてしまうことがある。

問2 大型船の一般的な特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ブリッジからは周りをよく見渡せるので、近くにいる小型船舶の動きがよく分かる。
- (2) 舵効きが悪い^{かじま}ため、舵を取ってから実際に針路が変わるまでに時間がかかる。
- (3) 緊急にエンジンを停止しても、すぐには停船することができない。
- (4) 狭い水道などでは、自船の針路を保つことに精一杯で、他の船舶を避けることが難しい。

問3 養殖漁業について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 一定の区域に施設を設置して、カキや魚類、ワリなどを養殖している。
- (2) 養殖施設は、海岸に近い水域に密集して設置されることが多い。
- (3) 養殖される魚の種類によってさまざまな施設があり、同じ種類でも地域によって形状が違う。
- (4) 養殖用のいかだやいけすは常に水面下に設置されていて、水上からは全く見えない。

問4 プレジャーボートの海難種類と、その主要な原因の組合せとして正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 機関故障・・・気象海象不注意
- (2) 衝突・・・見張り不十分
- (3) 転覆・・・船位不確認
- (4) 乗揚げ・・・操船不適切

問5 小型船舶の船長の役割や責任について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 同乗者の安全よりも、船体の安全を第一に考えなければならない。
- (2) 同乗者の行動に対して、十分に注意を払わなければならない。
- (3) 出航してから帰港するまで、すべてにおいて責任を負わなければならない。
- (4) 事故の内容によっては、海難審判法に基づく処分を受けなければならない。

問6 小型船舶の船長のマナーについて述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 港内や船だまりの付近では、できるだけ速力を落として、引き波を立てないように航行する。
(B) 港内の施設を許可なく使用する場合は、他の利用者がいない時間帯を見計らって利用する。
- (1) (A)だけ正しい
 - (2) (B)だけ正しい
 - (3) ともに正しい
 - (4) ともに誤っている

問7 小型船舶の船長の心得として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) ぼんやりと航行せず、常に船位の確認に努める。
- (2) 停泊船の付近は、安全のため低速で航行する。
- (3) 船内で出たゴミは、海底に沈む物だけを船外に捨てる。
- (4) 帰港後は、無事に帰ったことを関係者に知らせる。

問8 航行中に事故が起きた場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 冷静になって事故の状況を確認する。
- (2) ただちに116番に連絡する。
- (3) 落水者がいないかどうかを確認する。
- (4) 人命の救助を最優先する。

問9 小型船舶の船長の遵守事項で禁止されている「危険な操縦の方法」に当てはまらないものは、次のうちどれか。

(小型船舶操縦者法)

- (1) 遊泳者を発見して急停止すること
- (2) 遊泳者のすぐそばで急回転すること
- (3) 遊泳者の近くでジグザグ運転すること
- (4) 遊泳者のまわりを高速で航行すること

問10 一級小型船舶操縦士の免許は満何歳から取得できるか。次のうちから選べ。(小型船舶操縦者法)

- (1) 16 歳
- (2) 17 歳
- (3) 18 歳
- (4) 20 歳

=====
解答 問1 (2) 問2 (1) 問3 (4) 問4 (2) 問5 (1) 問6 (1) 問7 (3) 問8 (2) 問9 (1) 問10 (3)

問11 次の①～③のうち、新規登録の際の登録事項はどれか。下のうちから正しい組合せを選べ。

(小型船舶の登録等に関する法律)

① 船名 ② 船籍港 ③ 総トン数

(1) ① ② (2) ② ③ (3) ① ③ (4) ① ② ③

問12 環境への配慮として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 出航した後は、できるだけ早く海岸から遠ざかるよう、すぐに速力を上げる。
- (2) 環境に与える影響が比較的小さい、4ストロークエンジン搭載の船を使用する。
- (3) 陸上で水上オートバイのエンジンをかけるときには、十分に空吹かしを行う。
- (4) 早朝や深夜以外であれば、大きなエンジン音を出しても近隣住民の迷惑にならない。

【交通の方法】

問13 2隻の動力船が、行会い、横切り、追越しのいずれかの見合い関係になった場合における避航動作の違いについて述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 2隻が互いに避航動作をとらなければならないのは、行会い船の場合だけである。
- (2) 避航動作をとる際の具体的な転舵方向が定められているのは、行会い船の場合だけである。
- (3) 避航動作をとる船舶が針路を左に転じてはならないのは、行会い船の場合だけである。
- (4) 自船がその状況にあるかどうかを確かめることができない場合に、その状況にあると判断して避航動作をとらなければならないのは、行会い船の場合だけである。

問14 海上衝突予防法で定める追越し船に該当しないものは、次のうちどれか。

- (1) 他の船舶の正横より後方の位置からその船舶を追い越す船舶
- (2) 夜間、他の船舶の舷灯が見えない位置からその船舶を追い越す船舶
- (3) 夜間、他の船舶の船尾灯が見える位置からその船舶を追い越す船舶
- (4) 自船が追越し船であるかどうかを確かめることができない船舶

問15 夜間航行中のA動力船が、その左舷前方に他の動力船のマスト灯と右舷灯を認め、衝突するおそれがあるとき、A船はどのような航法をとらなければならないか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

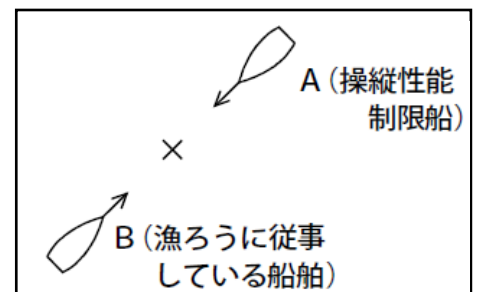
- (1) 大幅に右転して、長音1回の汽笛信号を行う。
- (2) 針路を保ち速力を大きく変更して、短音1回の汽笛信号を行う。
- (3) 大幅に左転して、長音2回の汽笛信号を行う。
- (4) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。

問16 保持船の航法について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 避航船と間近に近づいたため、避航船の動作だけでは衝突を避けることができないと判断した場合は、衝突を避けるための最善の協力動作をとらなければならない。
- (2) 避航船が衝突を避けるために十分な動作をとっていることについて疑いがあるときは、直ちに急速に短音による汽笛信号を繰り返して行わなければならない。
- (3) 避航船がこの法律の規定に基づく適切な動作をとっていないことが明らかになった場合は、直ちに針路を左に転じなければならない。
- (4) 差し迫った危険のある特殊な状況にあると判断した場合は、この法律の規定によらずに危険を避けるための動作をとることができる。

問17 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が真向かいに行き会い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) できる限りBがAの進路を避ける。
- (2) できる限りAがBの進路を避ける。
- (3) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
- (4) 全長が短いほうの船舶が、他船の進路を避ける。



=====
解答 問11 (2) 問12 (2) 問13 (4) 問14 (1) 問15 (4) 問16 (3) 問17 (1)

問18 安全な速力とは、どのような速力をいうか。次のうちから正しいものを選び。(海上衝突予防法)

- (1) 衝突を避ける動作がとれる速力
- (2) 自船の性能の半分の速力
- (3) 対水速力12ノット以下の速力
- (4) 対地速力12ノット以下の速力

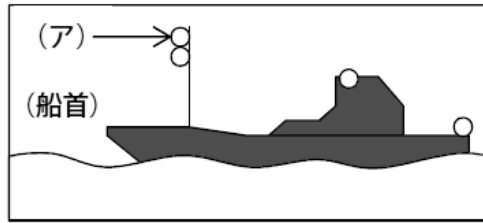
問19 狭い水道等における航法について述べた次の文の()の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。(海上衝突予防法)

「狭い水道等をこれに沿って航行する船舶は、できる限り、その水道等の()に寄って航行しなければならない。」

- (1) 中央
- (2) 内側
- (3) 右側端
- (4) 左側端

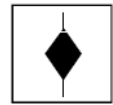
問20 右図は、夜間、トロール以外の漁法により

漁ろうに従事している船舶(対水速力がある)が表示しなければならない灯火を、左舷側から示したものである(正横方向からは見えない灯火も図示してある)。図中(ア)の灯火の色は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



- (1) 白色
- (2) 黄色
- (3) 緑色
- (4) 紅色

問21 昼間、曳航作業をしている航行中の動力船が、右図に示すような形象物1個を表示しているのは、動力船の船尾から曳航物件の後端までの距離が、何メートルを超える場合か。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)



- (1) 20メートル
- (2) 50メートル
- (3) 100メートル
- (4) 200メートル

問22 船舶が遭難して救助を求める場合の信号として誤っているものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 無線電話による「メーデー」という語の信号
- (2) 縦に上から国際信号書に定めるD旗及びC旗を表示することによる信号
- (3) 左右に伸ばした腕を繰り返してゆくり上下させることによる信号
- (4) オレンジ色の煙を発することによる信号

問23 港内における航法について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。(港則法)

- (1) 防波堤の突端を右舷に見て航行するときは、できるだけこれから遠ざかって航行しなければならない。
- (2) 汽船が防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれのあるときは、出航する汽船は入航する汽船の進路を避けなければならない。
- (3) 帆船は、港内では、帆を縮めるか引船を用いて航行しなければならない。
- (4) 航路内で他の船舶の左舷側を追い越す場合は、長音2回の汽笛信号を行わなければならない。

問24 港内において、雑種船と雑種船以外の船舶が真向かいに行き会い、衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(港則法)

- (1) 互いに針路を右に転じる。
- (2) 互いに針路を左に転じる。
- (3) 雑種船が雑種船以外の船舶の進路を避ける。
- (4) 雑種船以外の船舶が雑種船の進路を避ける。

問25 航路における一般的な航法として誤っているものは、次のうちどれか。(海上交通安全法)

- (1) 航路をこれに沿って航行している巨大船は、航路に入ろうとする漁ろう船等の進路を避けなければならない。
- (2) 長さ50メートル以上の船舶は、定められた地点間を航行するときは、航路を航行しなければならない。
- (3) 12ノットを超える速力で、航行してはならない区間が定められている。
- (4) 航路を横断する場合は、できる限り直角に近い角度で、すみやかに横断しなければならない。

問26 河川や湖沼における船舶の交通の方法について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 環境の保全を目的とした条例により、モーターボート等の航行を規制している水域がある。
- (2) 特定の漁業者や遊泳者の安全を確保することを目的とした条例により、モーターボート等の航行を規制している水域がある。
- (3) 迷惑防止条例により、モーターボートの危険行為を禁止している水域がある。
- (4) モーターボートの通航の方法を定めた条例には、罰則についての規定がない。

=====
解答 問18 (1) 問19 (3) 問20 (4) 問21 (4) 問22 (2) 問23 (3) 問24 (3) 問25 (1) 問26 (4)

【運航】

問27 航行中の小型船舶が舵を取った直後に生じるキックの説明として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 船体が外側に傾く現象をいう。
- (2) 船体が内側に傾く現象をいう。
- (3) 船尾が原針路よりも外側に振り出される現象をいう。
- (4) 船尾が原針路よりも内側に引き込まれる現象をいう。

問28 単錨泊する場合の後進投錨の操船要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 風や潮流があるときは、これらを船尾方向から受けるようにして錨地へ進む。
- (2) 予定錨地を少し過ぎた地点で行きあしが止まるようにエンジンを操作する。
- (3) エンジンを後進にかけて、後進の行きあしがつき始めたときに投錨する。
- (4) 後進でアンカーロープを所定の長さまで伸ばしたら一旦中立にし、錨を効かせる。

問29 小型船舶の復原力の大小について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 風や波を横から受けたとき、船体があまり傾かない場合は、復原力は大きい。
- (2) 転舵したとき、船体が通常より大きく傾く場合は、復原力は大きい。
- (3) 船体の横揺れ周期が普段より長い場合は、復原力は小さい。
- (4) 打ち込んだ海水が排水されず、デッキ上に残っている場合は、復原力は小さい。

問30 河口付近を航行する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 潮汐の影響を受ける場所もあるので、河口付近の潮汐を調べておく。
- (2) 大きな川であれば、大雨が降った後でも、河口付近の流れは変化しない。
- (3) 河口付近の水深は、上流にあるダム放水によって急に変化することがある。
- (4) 一般的に、上流に比べ河口に近づくほど流れがゆるやかになっている。

問31 小型船舶を曳航する場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 曳航を始める前に、曳航する船と曳航される船との連絡手段を確保しておく。
- (2) 発進するときは、曳航ロープをプロペラに巻き込まないように注意する。
- (3) 曳航を始めるときは、勢いをつけるため急発進する。
- (4) 十分な強度のある曳航ロープを使用する。

問32 日本沿岸における偏差の符号は、次のうちどれか。

- (1) 東(E) (2) 西(W) (3) 南(S) (4) 北(N)

問33 コンパス針路141°で航行中、横方向からの風や潮流の影響を受け、実際の針路は147°で進んでいることがわかった。

実際の針路を141°とするためには、コンパス針路何度で航行すればよいか。次のうちから選べ。

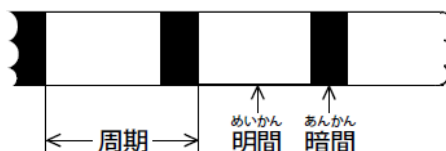
- (1) 135° (2) 141° (3) 147° (4) 153°

問34 日本の浮標式によると、標体の塗色が黒地に赤横帯1本以上で、頭標(トッマーク)は黒色球形2個を縦に連掲している標識は、何を意味しているか。次のうちから選べ。

- (1) 標識の周囲が可航水域であることや、その位置が航路の中央であること。
- (2) 標識の位置又はその付近に岩礁、浅瀬、沈船等の障害物が孤立してあること。
- (3) 標識の位置が工事区域等の特別な区域の境界であることや、その位置又は付近に海洋観測施設があること。
- (4) 標識の位置が航路の右側の端であり、その右側には岩礁、浅瀬、沈船等の障害物があること。

問35 右図に示す灯質の灯略記は、次のうちどれか。

- (1) Fl (2) Al
- (3) Oc (4) F



=====
解答 問27 (3) 問28 (1) 問29 (2) 問30 (2) 問31 (3) 問32 (2) 問33 (1) 問34 (2) 問35 (3)

※問33・ $147^\circ - 141^\circ = 6^\circ$ (6°風下側に流されている) $141^\circ - 6^\circ = 135^\circ$ (6°風上側(逆方向)に向ける)

問36 海図では知ることができない情報は、次のうちどれか。

- (1) 目的地までの距離
- (2) 予定針路上の危険箇所の有無
- (3) 海峡通過時の潮流の流向
- (4) 停泊地の水深

問37 海図図式「 $\xrightarrow{2kn}$ 」の表すものは、次のうちどれか。

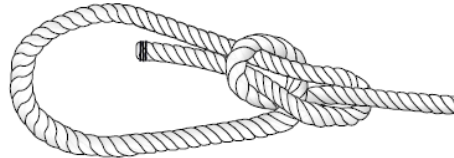
- (1) 上げ潮流
- (2) 急潮
- (3) 下げ潮流
- (4) 海流一般

問38 船外機について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 出力が同程度の船内機や船内外機に比べ、小型、軽量である。
- (2) 船体への取付けや取外しが比較的簡単に行える。
- (3) 船体への取付け角度を変えることができる。
- (4) 急激に前進に入れると、プロペラがはね上がることがある。

問39 右図に示す結索の名称は、次のうちどれか。

- (1) ひとえつなぎ(シングルシートバンド)
- (2) 8の字結び(フィギュアオブエイトノット)
- (3) もやい結び(ボーラインノット)
- (4) いかり結び(フィッシャーマンズバンド)



問40 出航前に点検した次の事項のうち、このまま出航しても支障がないものはどれか。

- (1) ベンチレーターが閉じてある。
- (2) 重い荷物が高い位置に積んである。
- (3) ボトムプラグが抜いてある。
- (4) ハルの亀裂や傷が確実に補修してある。

問41 エンジンの発航前点検について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 燃料タンクに必要な最低限の燃料があることを確認する。
- (2) 燃料パイプや燃料ポンプなどに燃料漏れがないことを確認する。
- (3) 燃料コックが開いていることを確認する。
- (4) 燃料フィルターに異物や水分が入り込んでいないことを確認する。

問42 4ストロークエンジンを、同程度の大きさ(排気量)の2ストロークエンジンと比べた場合の特徴として最も適切なものは、次のうちどれか。

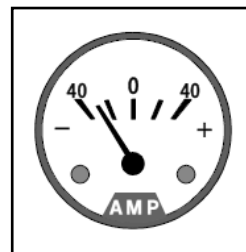
- (1) 燃費が悪い。
- (2) 本体重量が重い。
- (3) 構造が簡単である。
- (4) エンジンオイル交換の必要がない。

問43 船内外機型ガソリンエンジンの始動時及び停止時の操作について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) エンジンを始動する前に、エンジンルームの底部にたまったガソリンの気化ガスを排出するため、換気ブローアを作動させる。
- (B) エンジンを停止するときは、排気系統の未燃焼ガスを掃除するため、高い回転数を保ったままスタータースイッチを切る。
- (1) (A)のみ正しい
- (2) (B)のみ正しい
- (3) とともに正しい
- (4) とともに誤っている

問44 ガソリンエンジンを運転中、電流計が右図のような値を示した場合の原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) Vベルトの破損やゆるみ
- (2) オルタネーターの故障
- (3) 発電量以上の電力使用
- (4) サーモスタットの作動不良



=====

解答 問36 (3) 問37 (3) 問38 (4) 問39 (3) 問40 (4) 問41 (1) 問42 (2) 問43 (1) 問44 (4)

問45 ガソリンエンジンのエンジンオイルを交換する目安について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、

下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 船舶の使用頻度が低くても、取扱説明書に定められている間隔で定期的に交換する。
(B) 点検したときに、エンジンオイルがかなり変色しているようであれば交換する。
(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問46 天気記号(日本式)とその天気を示した次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- (1) ○ …… 快 晴 (2) ● …… 雨
(3) ◎ …… 雪 (4) ⊗ …… 晴 れ

問47 温暖前線が通過するとき起こる気象現象として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 空が暗い灰色の厚い雲におおわれる。 (2) しとすと雨が降る。
(3) 突風が吹くことが多い。 (4) 通過後は、気温が高くなる。

問48 1日に起こる満潮の回数は、普通何回か。次のうちから選べ。

- (1) 1回 (2) 2回 (3) 3回 (4) 4回

問49 航行中、予期せず荒天となった場合に使用する避難港の選定条件として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 強い風や高い波、うねりの入らない港 (2) 港内が十分に広く、水深が適当な港
(3) 入口に暗礁等がなく、入港しやすい港 (4) 使用にあたり、届出等が必要でない港

問50 小型船舶の事故発生時の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 浅瀬に乗り揚げたときは、直ちにエンジンを後進にかける。
(2) 他船と衝突したときは、人命救助を優先して行う。
(3) 他船と衝突したときは、両船を直ちに引き離さないようにする。
(4) 火災が発生したときは、火元が風下になるように操縦し、消火に努める。

問1～問12	問13～問26	問26～問50	合計
/12 正解	/14 正解	/24 正解	/50 正解

各科目50%以上、合計33問以上正解で合格。(特殊所持者は問13～問50の中で各科目50%以上、25問以上正解で合格)

=====

解答 問45 (3) 問46 (1) 問47 (3) 問48 (2) 問49 (4) 問50 (1)

模擬問題 3

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

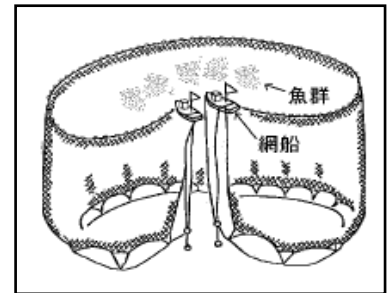
- (1) 工事や作業を行っている船舶を見かけたら、できるだけ離れて航行する。
- (2) 風や波などの影響をほとんど受けないで航行することができる。
- (3) 海上では、自船の位置は177番に電話すれば分かる。
- (4) 水面下の暗礁、障害物は、見張りを行っていれば必ず発見することができる。

問2 沿岸で操業をしている漁船に対する行為として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 興味本位に近づかないようにする。
- (2) 集団で操業している場合は、早めに大きく避けて航行する。
- (3) 操業の妨害をしないような進路をとる。
- (4) やむを得ず近づく場合は、引き波を立てて接近を知らせる。

問3 下図に示す「まき網漁業」に対する注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 魚群を囲い込むために、網船が急に針路を変えることがあるので注意しなければならない。
- (2) 水面付近のまき網は、離れた位置からは見えにくいので、近寄って確認しなければならない。
- (3) 複数の船舶で操業する機会が多いので、一隻だけではなく周りの船の動きにも注意しなければならない。
- (4) 漁船が動いていなくても、網を揚げている場合があるので、まわりで引き波を立てないようにしなければならない。



問4 プレジャーボートの海難事故の発生原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 水域調査不十分 (2) 救命設備不搭載 (3) 気象海象不注意 (4) 発航前点検不十分

問5 小型船舶の船長がとった行動として法令に違反するものは、次のうちどれか。

- (1) 船舶検査証書を、船内に備えて航行した。
- (2) 使わなくなった操縦免許証を、他人に譲った。
- (3) 昼間、法定灯火をつけて航行した。
- (4) 友人が持っている小型船舶に、船長として乗船した。

問6 「私は、潜水夫を降ろしている、微速で十分避けよ。」を意味する国際信号旗は、次のうちどれか。

ただし、白、青、赤は信号旗の色を表す。

- (1) 
- (2) 
- (3) 
- (4) 

問7 航行予定水域の状況を確認する方法として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 海図やプレジャーボート・小型船用港湾案内で調べる。
- (2) 航行予定水域付近のマリーナや漁業協同組合に問い合わせる。
- (3) 航行予定水域を管轄する海上保安部に問い合わせる。
- (4) 使用する船舶の船舶検査証書や船舶検査手帳で調べる。

=====

解答 問1 (1) 問2 (4) 問3 (2) 問4 (2) 問5 (2) 問6 (3) 問7 (4)

問8 海上で携帯電話を使用する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 防水対策として防水パックに入れるか、防水機能があるものを使用する。
- (2) 日本国内の場合、すべての携帯電話で海岸から20海里までの通話が保証されている。
- (3) いつでも身に付けておき、緊急時には素早く使用できるようにしておく。
- (4) 海上保安庁への直通番号(緊急通報用電話番号)を登録しておく。

問9 小型船舶の船長の道守事項について述べた次の文の()の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。

(小型船舶操縦者法)

「操縦する小型船舶が衝突したときやその小型船舶にさしそめた危険があるときは、()に必要な手段を尽くさなければならない。」

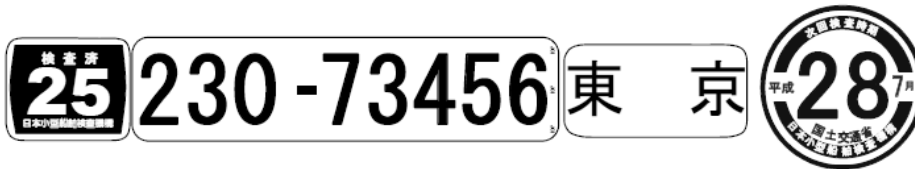
- (1) 通信の確保 (2) 人命の救助 (3) 船位の確認 (4) 船体の確保

問10 操縦免許証の更新及び失効再交付について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

(小型船舶操縦者法)

- (A) 更新の要件となる更新講習は、操縦免許証の有効期間が満了する日の1年前から満了日までの間に更新申請ができるように受講しなければならない。
- (B) 操縦免許証の有効期間を更新せず、満了により免許証が効力を失っても、失効再交付講習を受けて申請をすれば免許証は再交付される。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問11 小型船舶の両船側にはられた次のステッカーに含まれないものは、下のうちどれか。



- (1) 船舶検査済票 (2) 船舶番号 (3) 船体識別番号 (4) 次回検査時期指定票

問12 環境への配慮として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 所有する船を処分するときには、沖合の安全な場所に沈めるようにする。
- (2) 水域の環境に悪影響を与えるので、ゴミや油を捨てないようにする。
- (3) 高潮や洪水のとき河川の流に悪影響を与えるので、不法係留をしないようにする。
- (4) 船舶交通や工事作業の障害になるので、護岸に係留用の杭を打ちつけないようにする。

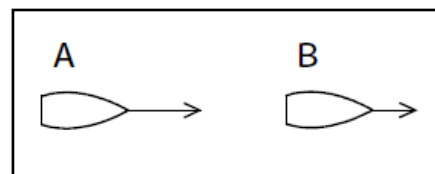
【交通の方法】

問13 接近する2隻の船舶に衝突するおそれがあるとき、互いに針路を右に転じなければならないのは、次のうちどの場合か。

(海上衝突予防法)

- (1) 動力船と動力船が真向かいに行き会う場合
- (2) 帆船と帆船が真向かいに行き会う場合
- (3) 動力船が帆船を追い越す場合
- (4) 帆船が動力船を追い越す場合

問14 右図に示すように、広い水域において、A船に追い越されるときは、B船の航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



- (1) Aが左に変針したときは、少し右転して停船する。
- (2) 早めに大角度の左転をして、Aに進路を譲る。
- (3) Aに注意しながら、針路と速力を保って航行する。
- (4) 針路を保ったまま速力を落とし、Aが通り過ぎるのを待つ。

=====

解答 問8 (2) 問9 (2) 問10 (3) 問11 (3) 問12 (1) 問13 (1) 問14 (3)

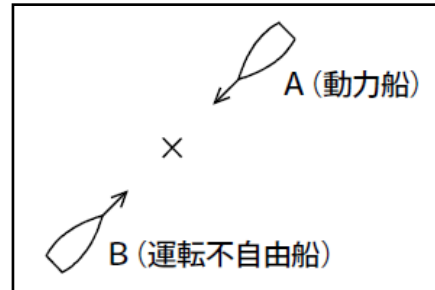
問15 航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り衝突するおそれがあるとき、他の船舶の進路を避けなければならない船舶は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 他の動力船より動きが素早い動力船
- (2) 先に警告信号を行った動力船
- (3) 他の動力船を右舷側に見る動力船
- (4) 他の動力船を先に見つけた動力船

問16 衝突を避けるための動作について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 他船の動きを確認するため、十分に近づいてから行う。
- (2) 速力の変更は、できる限り少しずつ行う。
- (3) 針路の変更は、できる限り小角度で行う。
- (4) 他船との間に安全な距離を保って通過できるように行う。

問17 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が真向かいに行き会い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



- (1) Aは針路を保ち、BがAの進路を避ける。
- (2) Bは針路を保ち、AがBの進路を避ける。
- (3) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
- (4) 速いほうの船舶が、他船の進路を避ける。

問18 安全な速力の決定にあたって特に考慮しなければならない事項として規定されていないものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 風、海面及び海潮流の状態
- (2) 航路障害物に近づいた状態
- (3) 目的地までの距離
- (4) 自船の操縦性能

問19 狭い水道等における航法について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 狭い水道等とは、この法律の規定によれば、狭い水道又は航路筋をいう。
- (2) 航行中の動力船は、狭い水道等において、帆船の進路を避けなければならない。
- (3) 帆船は、狭い水道等においては、この法律の規定によらないで航行することができる。
- (4) 障害物があるため他の船舶を見ることができない狭い水道等のわん曲部その他の水域に近づく場合は、十分に注意して航行しなければならない。

問20 夜間、航行中の対水速力を有しない操縦性能制限船(長さ12メートル以上)が表示しなければならない灯火は、次のうちどれか。ただし、○は白灯、●は紅灯、⊗は緑灯とする。(海上衝突予防法)

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)

問21 A氏は小型の動力船で釣り場に向かい、目的地に到着後、錨泊して竿釣りを行うことにした。このとき、船内にある次の形象物のうち、どれを表示しなければならないか。(海上衝突予防法)

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)

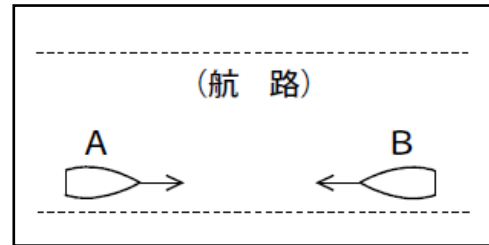
問22 海上衝突予防法に規定する短音及び長音の継続時間の組合せとして正しいものは、下表のうちどれか。

	(1)	(2)	(3)	(4)
短音	約1秒	約0.3秒	約1秒	約0.3秒
長音	4秒以上6秒以下	4秒以上6秒以下	2秒以上4秒以下	2秒以上4秒以下

解答 問15 (3) 問16 (4) 問17 (2) 問18 (3) 問19 (3) 問20 (4) 問21 (3) 問22 (1)

問23 右図に示すように、港内を航行中の2隻の船舶が航路内で行き会うときの航法として正しいものは、次のうちどれか。

(港則法)



- (1) Aは針路を左に転じて、航路の左側を航行する。
- (2) Bは針路を右に転じて、航路の右側を航行する。
- (3) A、Bともに針路を右に転じて、他船の進路を避ける。
- (4) A、Bともに針路を左に転じて、他船の進路を避ける。

問24 雑種船の航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。(港則法)

- (A) 雑種船は、特定港に出入し、または通過する場合は、航路を航行しなければならない。
- (B) 雑種船は、港内においては、雑種船以外の船舶の進路を避けなければならない。

- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問25 海上交通安全法で定める航路の区間では、何ノットを超える速力で航行してはならないか。次のうちから正しいものを選び。

- (1) 10ノット (2) 12ノット (3) 18ノット (4) 20ノット

問26 水上安全条例について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 水上安全条例により、各都道府県の公安委員会が独自に定めた標識を設置している水域がある。
- (2) 水上オートバイの操縦者に対して、指定した講習の受講を義務付けている条例がある。
- (3) 条例に違反した者の取締りは、各都道府県の警察が行っている。
- (4) 水上安全条例が定められているのは、滋賀県と山梨県のみである。

【運航】

問27 同一船舶において、最短停止距離が通常に比べて短くなる事例に当てはまらないものは、次のうちどれか。

- (1) 船底に海藻が多く付着している場合 (2) 波浪を正面から受けている場合
- (3) 荷物を多く積んでいる場合 (4) 向かい風を受けている場合

問28 排水型の一軸右回り船が岸壁に着岸する場合、右舷着岸より左舷着岸のほうが操船しやすい理由として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 操縦席の位置にかかわらず、左舷側のほうがよく見えるため。
- (2) 船体は右よりも左へ旋回しやすい形状をしているため。
- (3) 行きあしが低下すると、船首を左に向ける力がはたらくため。
- (4) エンジンを後進にかけると、船尾が左へ振れ岸壁に寄るため。

問29 船のトリムの説明として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 船体中央部における両舷の喫水の差 (2) 満船時と空船時の喫水の差
- (3) 船尾における両舷の喫水の差 (4) 船首と船尾の喫水の差

問30 狭水道を航行する際の船首目標として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 前方を航行している船舶の船尾 (2) 前方にある山の頂上
- (3) 前方にある2物標の重視線 (4) 前方にある目立つブイ

問31 他の船舶を曳航する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 曳航開始時は、行きあしをつけるために高速で引き始める。
- (2) 視界が悪くなったら、速力を落として曳航ロープを短くする。
- (3) 曳航ロープは、決して解くことができないように固く結ぶ。
- (4) 荷物は、引く船から引かれる船に移す。

問32 偏差について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 磁針方位に偏差を加減すると真方位が得られる。
- (2) 同じ場所でも、年月の経過とともに偏差は変化する。
- (3) 磁北が真北の東側にあれば、偏差は偏東である。
- (4) 偏差は磁気コンパスの使用時間に比例して大きくなる。

=====
解答 問23 (2) 問24 (2) 問25 (2) 問26 (4) 問27 (3) 問28 (4) 問29 (4) 問30 (3) 問31 (2) 問32 (4)

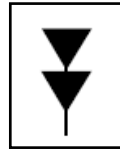
問33 海図上で距離を測る方法について述べた次の文の()の中に当てはまる語句として最も適切なものは、下のうちどれか。

「2地点間の距離は、ディバイダーの2本の脚を広げて2つの地点に当て、次に()にディバイダーを当てて値を読み取る。」

- (1) 経度尺 (2) 緯度尺 (3) 縮尺 (4) コンパス図

問34 下図に示す頭標(トップマーク)の付いた浮標の意味として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 浮標の北側に障害物があることを示している。
(2) 浮標の南側に可航水域があることを示している。
(3) 浮標の位置が水源の南側であることを示している。
(4) 浮標の南側に航路の合流点があることを示している。



問35 夜間、航路を通過して出港するとき、航路に沿って設置された標識の灯火をどちらの側に見て航行するのが安全か。

次のうちから選べ。

- (1) 赤色の灯火は右舷標識なので、これらを左舷側に見て航行する。
(2) 赤色の灯火は左舷標識なので、これらを右舷側に見て航行する。
(3) 緑色の灯火は右舷標識なので、これらを右舷側に見て航行する。
(4) 緑色の灯火は左舷標識なので、これらを左舷側に見て航行する。

問36 海図に記載された高さ及び深さの基準面について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 山の高さの基準面は、平均水面である。
(2) 橋の高さの基準面は、最高水面である。
(3) 干出の高さの基準面は、平均水面である。
(4) 水深の基準面は、最低水面である。

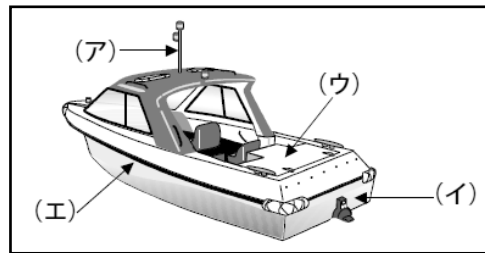
問37 海図図式「R」(底質)の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 砂 (2) 石 (3) 泥 (4) 岩

問38 右図は、小型船舶を斜め後方から見た略図

である。「トランサム」は、图中(ア)~(エ)のうちどれか。

- (1) (ア)
(2) (イ)
(3) (ウ)
(4) (エ)



問39 小型船舶の上架手入れについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 船底や水線部に付着した海藻や貝殻を落とす。
(2) 防食亜鉛の腐食状況を調べ、必要に応じて交換する。
(3) ボトムプラグを開けて、ビルジを排出する。
(4) 船底外板を水で濡らし、乾かないうちに塗装する。

問40 平水区域を航行区域とする小型船舶が必ず備えておかなければならない法定備品は、次のうちどれか。(船舶安全法)

- (1) NC旗 (2) 双眼鏡 (3) 発煙浮信号 (4) 係船索

問41 エンジン始動前のリモコンレバー(シングルレバー式)の作動確認について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) クラッチがつながった状態でリモコンレバーを前後に動かしてみ、全く動かなければ正常である。
(B) クラッチを切り離れた状態でリモコンレバーを前後に動かしたとき、異常ながたつきや引っ掛かりがなければ正常である。
(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) とともに正しい (4) とともに誤っている

問42 4ストロークエンジンにおけるエンジンオイルの役割について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 燃焼や摩擦によって発生した熱を取る。 (2) 回転軸と軸受などの摩擦を少なくする。
(3) 燃料油の燃焼効率を上げる。 (4) シリンダーとピストンとの隙間の気密を保つ。

=====

解答 問33 (2) 問34 (3) 問35 (1) 問36 (3) 問37 (4) 問38 (2) 問39 (4) 問40 (4) 問41 (2) 問42 (3)

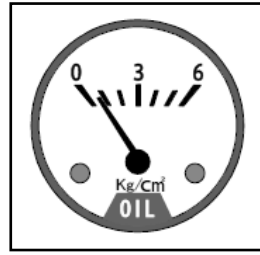
問43 小型の船外機船において、船外機の取付け角度の調整は何で行うか。次のうちから選べ。

- (1) トリムタブ (2) クラッチレバー (3) チルトピン (4) プロペラナット

問44 ガソリンエンジンを運転中、油圧計が、右図のような値を示した。

この原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) エンジンオイルに水が混じた。
 (2) オイルフィルターが詰まった。
 (3) エンジンオイルが極端に減った。
 (4) Vベルトが切断した。



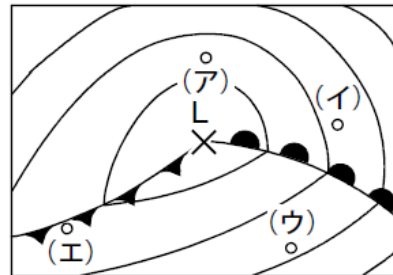
問45 海水域で使用する船舶の防食垂鉛の交換目安について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 減りや欠けがない場合は、交換時期であっても、そのまま続けて使用する。
 (B) 減り具合が半分程度であれば、防錆塗料で塗装し、続けて使用する。

- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問46 右図は、日本付近における地上天気図の一部を示したものである。突風が吹きやすい地点は、図中(ア)～(エ)のうちどれか。

- (1) (ア)
 (2) (イ)
 (3) (ウ)
 (4) (エ)

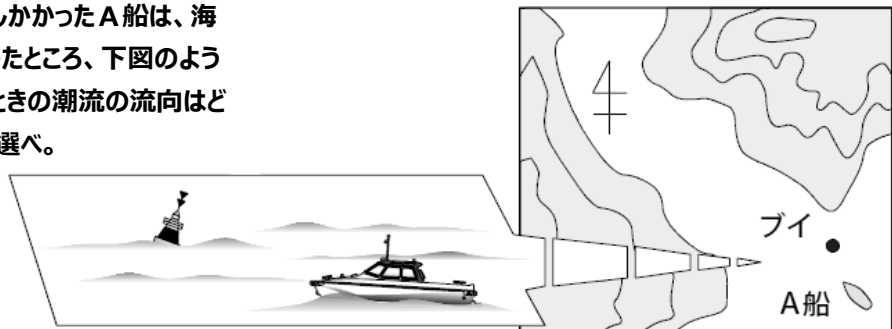


問47 突風や雷雨をとまなう前線は、次のうちどれか。

- (1) 温暖前線 (2) 寒冷前線 (3) 停滞前線 (4) 閉塞前線

問48 右図のような潮流の速い海峡にさしかかったA船は、海峡の入口に設置されたブイを観察したところ、下図のようにブイが自船側に傾いていた。このときの潮流の流向はどちらだと判断できるか。次のうちから選べ。

- (1) 北東流
 (2) 南東流
 (3) 北西流
 (4) 南西流



問49 荒天時に河口付近を航行する場合の注意事項について述べた次の文の()の中に当てはまる語句として適切なものは、下のうちどれか。

「川の上流からの流れと、沖からの風浪がぶつかり合う場所では、波高が異常に高くなる()が発生することがあるので注意が必要である。」

- (1) 高潮 (2) 潮浪 (3) 土用波 (4) 三角波

問50 「オレンジ色の煙を発する救命設備」は次のうちどれか。

- (1) 信号紅炎 (2) 自己発煙信号 (3) 火せん (4) 自己点火灯

問1～問12	問13～問26	問26～問50	合計
/12 正解	/14 正解	/24 正解	/50 正解

各科目50%以上、合計33問以上正解で合格。(特殊所持者は問13～問50の中で各科目50%以上、25問以上正解で合格)

=====
解答 問43 (3) 問44 (4) 問45 (4) 問46 (4) 問47 (2) 問48 (2) 問49 (4) 問50 (2)